

# 12月定例会

## 議案質疑

12月定例会は、12月11日に会期を30日間として開会し、平成23年度各会計決算認定案3件、平成24年度各会計補正予算案9件、条例案・その他の議案9件、人事案件2件の審議を行いました。

本会議では、議員2名から議案質疑が、また、14名から市政全般に関する一般質問が行われました。

議案質疑及び一般質問の概要は、次のとおりです。



### 五百亀記念館設置及び管理条例について 西条市立西条郷土博物館等設置及び管理条例の一部を改正する条例について

#### 社会教育施設の指定管理の方針は？

(自民クラブ)

**問** 2つの条例には指定管理者による管理が可能となる規定が定められているが、五百亀記念館、西条郷土博物館、東予郷土館の3館をまとめて指定管理を行う考えはあるのか。

また、開館時間は五百亀記念館が午後7時まで、西条郷土博物館が午後5時まで、東予郷土館が午後6時までと異なっているが、どのような考えで差を設けているのか。

#### 答

施設の管理運営については、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間事業者の持つノウハウを有効に活用することにより



建設中の五百亀記念館

### 西条市産業情報支援センターの指定管理者の指定について

問題はないのか？

#### 指定管理者の指定

(日本共産党西条市議団)

**問** 市が西条市産業情報支援センターの指定管理者として指定しようとする株式会社西条産業情報支援センター(サイクス)は、市が資本金を出資している会社である。市がサイクスを指定管理者として指定することは、透明性に欠けるのではないかと考えるが、指定の理由及び妥当性を問う。

また、無株主の前市長がサイクスの代表取締役であることは、筆頭株主としての市の姿勢が問われる。早期に役員の変更が必要であると思うが、市の考えを問う。

#### 答

指定の理由については、サイクスが専門的で高度な支援ノウハウや関係機関などとの広範なネットワークを有しており、産業情報支援センターの設置目的である地域産業の育成・振興を図り、豊かで活力あ

る地域社会の実現が効果的に図られるものと判断したためである。

サイクスの筆頭株主である市としては、設立の目的に沿った経営体制を整え、安定した雇用の場の確保と地域産業の持続的発展に資する事業を継続的に実施していくことが重要であると考えている。サイクスは、指定管理者業務仕様書に定められた基準により業務を全うできる体制が確保されており、同社を指定管理者として選定することは何ら問題ないと考えている。

また、現在、サイクスにおいては、定款や関係法令に基づき新体制の構築に向けた調整を進めていると聞いている。



西条市産業情報支援センター